

報道関係各位

2022年2月28日  
株式会社クロス・マーケティング

## 首都圏テレワーク実施率は49%、うち32%は「ほぼ毎日」働く場所は「会社や現場」を中心としたい人が半数超え

－働く場所やテレワークに関する調査（2022年）－

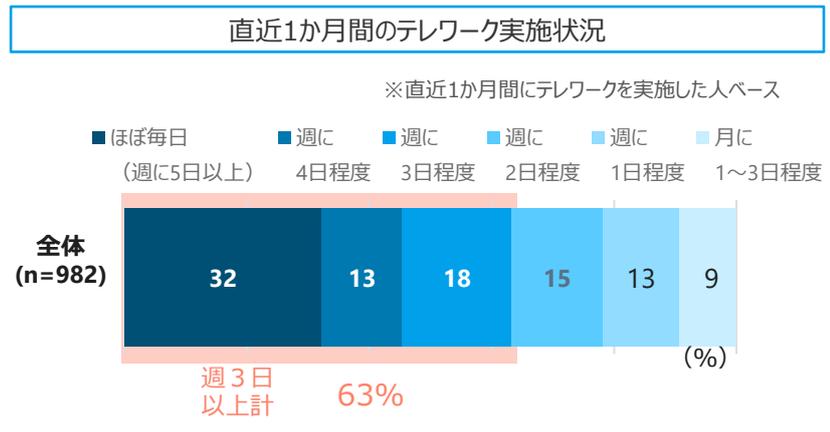
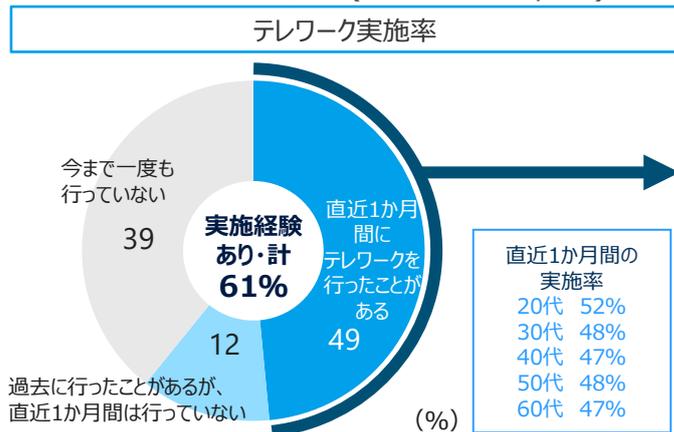
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、首都圏に在住する20～69歳の有職者男女約2,026人を対象に「働く場所やテレワークに関する調査（2022年）」を実施しました。2020年4月の緊急事態宣言を受け急増したテレワークですが、現在どの程度行われているのでしょうか。また、今後の働く場所として会社や現場がよいのか、その理由などを聴取し分析しました。

### ■調査結果（一部抜粋）

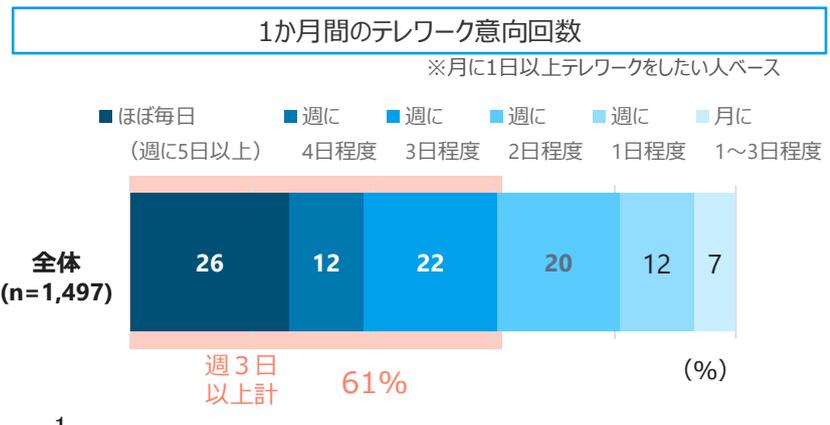
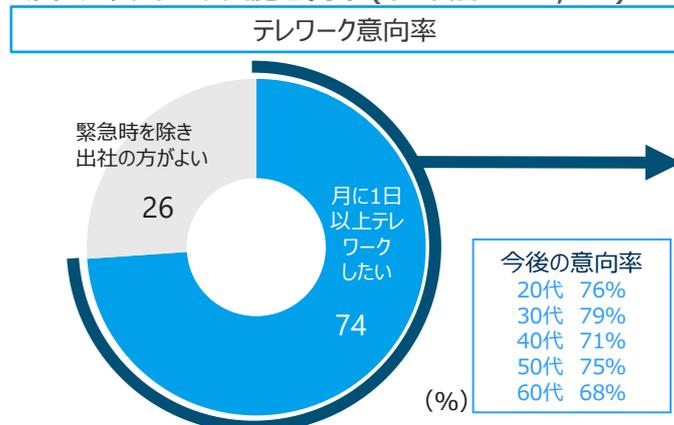
- ✓ **【テレワーク実施率】** 首都圏有職者のうち、今までにテレワークを経験した人は61%。まん延防止等重点措置期間中である、直近1か月のテレワーク実施率は49%と半数であった。年代別には、20代の1か月間の実施率は52%とやや他の年代より高めではあるものの、年代によるテレワーク実施率に大きな差は見られない。この1か月間のテレワーク実施回数は、「ほぼ毎日」が32%と最も多く、一週間の半分以上でテレワークをしている人（週3日以上）は、63%を占めた。今後、「月に1日以上テレワークをしたい」人は74%と高い。特に、30代の意向者は79%と目立つ。<図1、2>
- ✓ **【働く場所】** 働く場所についてどちらを中心としたいか聴取したところ、「会社や現場」が58%、「テレワーク」が43%。「会社や現場」を中心に働きたいは60代のみで6割を超えた。「会社や現場」で働きたい人の理由（自由回答）は、「会社の方が仕事に集中できる／効率が良い」「コミュニケーションが取りやすい」「onとoffの切り替え／メリハリをつける／公私を分ける」という意見があがった。一方、「テレワーク」で働きたい人の理由は、「移動時間もつたいない／その時間を有効に使いたい」「満員電車の通勤はストレス／苦痛」「プライベート時間が取れる／時間にゆとりができる」など、首都圏調査ということもあり、オフィスに対する不満ではなく、移動時間の長さや満員電車への不満が多くあがっていた。仮にテレワークを行うのであれば、どんな場所がよいかを聴取したところ「自宅」が82%と断トツで高く、次いで「コワーキングスペース」「サテライトオフィス」が続いた。<図3、4>

◆詳細情報は本レポートに掲載しております。<https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220228work/>

<図1> テレワーク実施状況（単一回答：n=2,026）



<図2> テレワーク実施意向率（単一回答：n=2,026）



＜図3＞ 働きたい場所（単一回答：n=2,026）

n=	働きたい理由				会社・現場計 (%)	テレワーク計 (%)
	会社や現場へ行くことを中心として働きたい	どちらかといえば、会社や現場へ行くことを中心として働きたい	どちらかといえば、自宅や自宅以外でのテレワークを中心として働きたい	自宅や自宅以外でのテレワークを中心として働きたい		
全体 (2,026)	29	28	22	21	58	43
20代 (403)	24	31	25	20	55	45
30代 (414)	28	25	22	25	53	47
40代 (419)	30	29	19	23	58	42
50代 (417)	32	25	24	20	57	43
60代 (373)	33	32	21	15	65	35

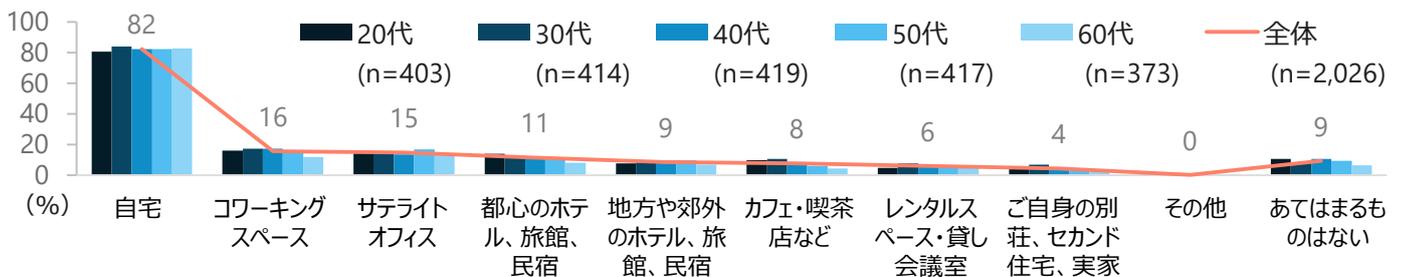
■ 会社や現場へ行くことを中心に働きたい理由  
(自由回答抜粋)

会社の方が仕事に集中できる／効率が良い  
コミュニケーションが取りやすい  
onとoffの切り替え／メリハリをつける／公私を分ける  
周りに人がいたほうが安心／一人では不安  
出勤することで気分転換になる  
人との対面が大切／直接話をしたい  
仕事へのモチベーションが上がる／やる気ができる

■ 自宅や自宅以外でのテレワークを中心として働きたい理由  
(自由回答抜粋)

移動時間をもたない／その時間を有効に使いたい  
満員電車の通勤はストレス／苦痛  
プライベート時間が取れる／時間にゆとりができる  
家事や育児と両立できる／ワークライフバランスがとりやすい  
新型コロナウイルスの感染防止のため  
テレワークの方が集中できる／効率的  
出社のための身支度（着替え、化粧）が不要

＜図4＞ 今後、テレワークをしたい場所（複数回答：n=2,026）



■ レポート項目一覧

- 属性設問 (性別/年代/未既婚/同居家族/居住地/職業/雇用形態)
- テレワーク実施理由
- テレワーク実施意向
- ▼ 調査結果詳細
- テレワーク実施経験
- 今後のテレワークの意向回数
- 直近1年間のテレワーク実施状況
- 今後テレワークをしたい場所
- 働きたい場所

◆ レポートのダウンロードはこちらから <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220228work/>

■ 調査概要

調査手法：インターネットリサーチ  
(クロス・マーケティングセルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用) 調査期間：2022年2月15日(火)～2月18日(金)  
調査地域：首都圏(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県) 有効回答数：本調査2,026サンプル  
調査対象：20～69歳の男女有職者 ※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名：株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>  
所在地：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F  
設立：2003年4月1日  
代表者：代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹  
事業内容：マーケティングリサーチ事業

◆ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先 ◆

広報担当：マーケティング部 TEL：03-6859-1192 FAX：03-6859-2275 E-mail：[pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp)

＜引用・転載時のクレジット表記のお願い＞

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

＜例＞「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」